

健康管理事業について



正和会
小澤 芳輝 議員



質問 本市における子宮頸がん検診の現状について伺う。

市長 本市では、国の指針に基づき、20歳以上を対象に子宮頸がん検診を実施している。市内医療機関での実施のほか、市独自の取り組みとして年に2回保健センターでの集団検診も実施している。また、がん検診推進事業の対象となる20歳の方には子宮頸がんの検診手帳及び子宮頸

がん検診無料クーポン券を送付し、受診勧奨に努めている。

子宮頸がんワクチンについて

質問 子宮頸がん予防ワクチンの接種について、本市の考え方を伺う。

市長 市町村の役割として、接種対象者等への情報提供等があり、有効性・安全性に関する情報や円滑な接種のための情報等を市広報及びホームページに掲載し、接種が完了し

ていない全対象者に個別通知を開始している。積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方には、時限的に従来の対象年齢を超えて接種を行うキャッチアップ接種に関する個別通知を行う。期間は令和4年4月から7年3月までの3年間とし、副反応等に関する情報について、医療機関や自治体、医師会等との連携を通じ情報共有を行う。



▲子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種のリーフレット

グリーフケアについて



公明党
青木 健 議員



質問 グリーフとは、近親者との死別・別離をはじめとして、様々な愛情や依存の対象を喪失した際に生じる反応を指し、長期化することで極度の不安、抑鬱、PTSD(心的外傷後ストレス障害)など精神保健上の問題が生じることがあるが、適切な介入・支援によって問題を軽減できるとも言われており、ケアの視点が重視されようになった。厚生労働省ではグリーフケアに関する手引きを作成し、活用を促す通知を都道府県などに出しているが、本市における取り組みについて所見を伺う。

市長 国は、残された方への支援として、平成30年11月に自殺総合対策推進センターが『自死遺族等を支えるために～総合的支援の手引』を作成。令和3年6月には厚生労働省開催の、周産期のグリーフケアに関

する自治体説明会で、市区町村で活用可能な事業や、きめ細やかな支援体制の整備について示された。

本市としては、遺族と接する機会や個別相談等があった際の対応については、どの部署においてもしっかり傾聴し、適切な情報提供と専門機関への丁寧なつなぎなど、遺族の地域、社会からの心理的な孤立が続かないよう、しっかり対応していく。



▲東京都発行のリーフレット

米軍横田基地について



日本共産党
市毛 雅大 議員



質問 5月9日から13日にかけて行われた戦闘機が多数飛来した軍事演習「ビバリーモーニング」について、要請等の本市の動きを伺う。

市長 4月27日に横田基地周辺市町基地対策連絡会から国及び米軍に対して、昼夜を問わず横田基地において戦闘機の訓練を実施しないことについて要請した。また、5月10日に横田基地と横田防衛事務所を訪問

し、日米友好祭に関する要請を行った際にも改めて、周辺住民からの騒音に関する苦情について申し入れた。

福生市民会館について

質問 市民会館のおおよその沿革と、魅力や特徴をどのように捉えているか伺う。

教育長 昭和35年建設の西多摩郡自治会館が39年に福生町へ移管され、市制施行により45年に福生市民会館

と名称を変更、52年に現在の建物に建て替えられた。様々な行事に対応できる大ホール及び小ホールと、集会室、音楽室、調理室、展示スペースなど、活動目的に応じた多様な部屋を備えるとともに、公共交通機関からもアクセスしやすく、また、本市内全域から多くの市民の皆様が来館しやすい場所に設置されていることも魅力と捉えている。



▲福生市民会館外観

ICT教育、GIGAスクール構想について



日本共産党
池田 公三 議員



質問 経済協力開発機構が行っている国際的な学習到達度調査では、タブレット端末の活用時間が長い生徒ほど学力が低下する傾向があると指摘している。本市の学校や家庭での活用についてどのような工夫をしているか。

教育長 児童・生徒がiPadを使うタイミングや使い方を主体的に判断し、直面する学習課題を解決す

るためのツールの一つとして使えることを目指している。今後もiPadを活用した授業改善に取り組む。

質問 子どもによっては親に隠れて長時間利用し、担任から保護者に連絡が来るケースもあるようだ。家庭への持ち帰りは保護者の選択にすべきと考えるが、市の見解を伺う。

教育部参事 本市が導入したiPadはLTE通信機能を有し、家庭

にWi-Fiがなくても利用でき、児童・生徒の主体的な学びにつながっている。一部の児童・生徒に長時間利用やフィルタリング解除などの不適切な利用実態があるのは承知している。市教育委員会は毎日利用状態を把握し、各校長と連携して組織的に対応している。iPadの持ち帰りについて保護者から相談が寄せられた場合は丁寧に対応している。



ドクターヘリについて



公明党
原田 剛 議員



質問 令和4年3月、市営加美平野球場、市営競技場、市営福生野球場に関し、「ドクターヘリ飛行場外離着陸場としての使用に関する協定」が締結されたが、ドクターヘリの概要について伺う。

市長 医療機器や医薬品を搭載したヘリコプターで、現場に急行し、医師が治療しながら患者を医療機関に搬送するもので、多摩地域を中心

に新たに運航が開始された都の事業。協定の締結により救急患者がより早く適切な治療を受け、救命、後遺症の軽減につながればと考えている。

食材等の高騰における給食について

質問 食材の値上がりが相次いでいるがその対応と本市の状況を伺う。

教育長 物価高騰による学校給食への影響等が懸念されることから、新型コロナウイルス感染症対応地方

創生臨時交付金の拡充により創設される「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」を活用し、学校給食等の保護者負担の軽減に向けた取り組みを進めるよう、文部科学省から通知があった。本市においても一部の食材に価格高騰の影響が生じていることから、拡充された臨時交付金を活用し、本定例会中に追加の補正予算案として提案したい。



▲ドクターヘリ飛行場外離着陸場の福生野球場